

■出産祝金の給付【民生費】(継続) 550万円
(保健福祉部 子育て支援課)

お子さんの誕生をお祝いするとともに、子育ての支援をするため祝い金を給付します。(京丹後市独自の制度です)
市内に居住し、3人目以降のお子さんを出産されたとき、1人につき5万円を給付します。

2 学校教育の充実

学校施設の安心安全に取り組みます

■網野中学校管理棟新築に伴う実施設計経費
【教育費】(新規) 1,660万円
(教育委員会事務局 教育総務課)

網野中学校の管理棟は、昭和38年に建築されてから42年が経過しており、市内の中学校のなかで一番古い建物です。平成4年に改修を行い、コンピュータ室などを整備しましたが、老朽化が著しく安心・安全な教育環境とはいえません。このため、管理棟を新築するための実施設計や地質調査を今年度実施します。



建て替えが予定されている
網野中学校の管理棟

平成19年度に建築工事に着手して平成20年度に完成する予定としています。

■学校施設の耐震診断【教育費】(継続) 508万円
(教育委員会事務局 教育総務課)

市内には、小学校31校、中学校9校、幼稚園2園の計42校(園)の学校施設があります。

学校施設は、地震などの災害が起きた場合には、みなさんの避難場所としても重要な役割を担っています。

市内には古い建築基準で建てられた学校が多いことから、順次耐震診断を行うこととしています。



今年度は、佐濃小学校の耐震診断を行う佐濃小学校(久美浜)

耐震診断とは

大きな地震が起きた場合に、建物が安全かどうかの調査を行います。

市内の学校の約50%が、耐震診断が必要とされる昭和56年以前に建てられています。

丹後の魅力を全国に発信する高校生の活動を支援します

■全国高等学校総合文化祭開催経費補助金
【教育費】(新規) 180万円
(教育委員会事務局 教育総務課)

毎年、順番に各都道府県が開催している全国高等学校総合文化祭が、平成18年度は「京都総文(きょうと

そうぶん)」として8月に京都府内で開催されます。この文化祭典は、高校生に芸術文化活動の発表の場を提供し、創造的な人間育成を図るとともに、全国の高校生の交流・親睦を図ることを目的に開催されているものです。

京丹後市では、協賛部門「京都」として、『丹後ちりめん』を素材としたファッションショーなどが丹後文化会館を会場に予定されており、京丹後市を全国にPRするために開催経費を補助します。



「京都総文」のポスター

生きた英語を学べます

■外国語指導助手の招致【教育費】(継続) 2,794万円
(教育委員会事務局 教育総務課)

英語圏から6人の外国語指導助手を招致し、市内9中学校で英語授業補助を行うほか、小学校を巡回して英語によるコミュニケーション活動を行うなど、生きた英語を学び、国際理解を深める教育の場を提供しています。



小学校での総合学習の授業風景

3 社会教育・スポーツの充実

国際的な視野を育てます

■青少年の海外派遣【教育費】(継続) 401万円
(教育委員会事務局 社会教育課)

市内の中学生20人を対象に、5泊6日の日程で海外研修を行います。訪問先は中国を予定しています。

海外での交流体験や研修を通じて幅広い視野を養い国際的な視点で活躍できる人材を育成します。

往年の有名プロ野球選手が来ます

■プロ野球名球会ドリームベースボールの開催
【教育費】(新規) 100万円
(教育委員会事務局 社会教育課)

宝くじ事業を活用してプロ野球名球会を招待し、指導者セミナー、少年少女ふれあい野球教室、ふれあい講演会、地元チームとの親善試合を行う予定です。

●開催日 11月4日(土)～5日(日)

●会場 峰山球場

京都府丹後文化会館(ふれあい講演会)

京丹後の春の風物詩

■プロ野球ウエスタンリーグ公式戦の開催
【教育費】(継続) 400万円
(教育委員会事務局 社会教育課)

京丹後の春の風物詩となった「ウエスタンリーグ公式戦」を開催する実行委員会へ補助金を交付します。

迫力あるプロスポーツの醍醐味を身近に味わうことのできるこの取り組みを支援し、市民のみなさんのスポーツ意欲の向上とスポーツ振興を図ります。

4 歴史文化遺産の保全と活用

京丹後市の歴史や文化を身近に感じてください

■「京丹後史文化財博士」の育成講座の開設
【教育費】(新規) 3万円
(教育委員会事務局 文化財保護課)

京丹後市には数多くの歴史文化遺産があります。「京丹後史文化財博士」育成講座では、これらの歴史文化遺産に関する資料や報告書を実際に読んだり触れたりすることで、郷土の歴史を知り、歴史をつなぎあわせる楽しさを体感していただくことを目的としています。

これにより私たちの住むまちへの愛着を育むことにつながればと考えています。

■小牧源太郎生誕100周年記念展の開催
【教育費】(新規) 9万円
(教育委員会事務局 文化財保護課)

小牧源太郎さん(1906年～1989年)は、大宮町出身の日本におけるシュールレアリスム派の代表的な画家です。

小牧画伯の生誕100周年を記念して、ふるさとである京丹後市(大宮町)で展示会を開催します。

●開催予定 10月上旬～11月上旬の約1か月間

●会場 大宮ふれあい工房

市史の編さんに取り組みます

■市史の編さん【教育費】(継続) 639万円
(教育委員会事務局 文化財保護課)

平成17年度から10年間かけて京丹後市史を編さんします。

京丹後市史は、京丹後市の歴史や自然環境の特徴をわかりやすく編さんし出版する予定で、大きくわけて本文編と史料編とにわける予定としています。

今年度は、古い民家や古文書、民俗芸能などの現地調査を実施する予定にしています。

遺跡の保全・活用に取り組みます

■遺跡整備事業【教育費】(継続) 407万円
(教育委員会事務局 文化財保護課)

市内にある多くの遺跡を活用するための「史跡整備マスタープラン」の基本計画を策定します。

また、丹後町にある日本海沿岸では最大級の前方後円墳「神明山古墳」(5世紀前半)について、基礎的なデータとなる地形測量図を大阪市立大学の協力を得て37年ぶりに更新します。

さらに、弥生時代で国内最大級といわれる峰山町の「赤坂今井墳丘墓」について、墳丘斜面の崩壊による緊急保全工事を



神明山古墳(丹後町)

います。

●主な経費

史跡整備検討委員会の委員報酬など	37万円
神明山古墳に関する測量準備経費	30万円
赤坂今井墳丘墓の保全経費	330万円



保全工事が急がれる
赤坂今井墳丘墓(峰山町)

V 共に築き、結び合う
パートナーシップ都市

1 地域コミュニティの強化

地域づくり、まちづくりを推進します

■地域振興交付金【総務費】(継続) 1億2,259万円
(企画政策部 企画推進課)

住みよい地域社会の実現に向けて、各町の区長協議会などへ交付金を交付し、自治会活動の活性化を図ります。

交付金の額は、区長協議会を構成する区の均等割額(20,000円)と世帯割額(1世帯当たり5,400円×世帯数)の合計額です。

区長協議会に交付された交付金は、さらに区長協議会を構成する地区に配分され、広報紙の配布経費や地域環境の整備費、集会所の維持管理費など、住みよい地域づくりのための経費に使われます。

●平成18年度の交付予定額

峰山町峰山地区区長会・峰山町峰山区長協議会	2,639万円
大宮町自治会連絡協議会	2,098万円
網野町区長連絡協議会	2,914万円
丹後町区長連絡協議会	1,433万円
弥栄町区長協議会	1,096万円
久美浜区長連絡協議会	2,079万円

■蒲井・旭地域振興経費【総務費】(新規) 3,135万円
(企画政策部 企画推進課)

久美浜原発計画について、市が今年2月に事前環境調査の申し入れの撤回を要請したことを受け、3月8日に関西電力が計画中止を決定しています。

原子力発電施設建設の候補地として30年の間本格的な地域振興に手がつけられなかった久美浜町蒲井・旭地域のみなさんの切実な思いをしっかりと受け止め、地域振興の遅れを取り戻すと同時に、市域全体の振興にもつながるような地域振興をめざして地元のみなさんとともに取り組んでいきます。